

柔道整復科

柔道整復科 平成26年度、27年度、28年度入学 JT14S、JT15S、JT16S

分野	教育内容	必修 選択	授 業 科 目	区分	単位 数	科目 時間	1年次		2年次		3年次		
							前	後	前	後	前	後	
基礎	科学的思考の基礎 人間と生活	必修	生物学	講義	4	68	34	34					
		必修	栄養学	講義	4	68	34	34					
		必修	パソコン	講義	2	34	34						
		必修	国語表現	講義	2	34		34					
		必修	体力学	講義	2	34			34				
専門基礎	人体の構造と機能	必修	解剖学Ⅰ	講義	4	68	34	34					
		必修	解剖学Ⅱ	講義	4	68			34	34			
		必修	生理学Ⅰ	講義	4	68	34	34					
		必修	生理学Ⅱ	講義	4	68			34	34			
		必修	運動学	講義	4	68					34	34	
	疾病と傷害	必修	病理学	講義	2	34			34				
		必修	一般臨床医学	講義	4	68			34	34			
		必修	外科学概論	講義	2	34				34			
		必修	整形外科科学	講義	2	34					34		
	保健医療福祉と 柔道整復の理念	必修	リハビリテーション医学	講義	2	34						34	
		必修	衛生学・公衆衛生学	講義	2	34						34	
		必修	関係法規	講義	2	34						34	
		必修	柔道Ⅰ	実技	1	34		34					
	専門	基礎柔道整復学	必修	柔道Ⅱ	実技	2	68			34	34		
			必修	柔道Ⅲ	実技	1	34						34
必修			基礎柔道整復学Ⅰ	講義	2	34	34						
臨床柔道整復学		必修	基礎柔道整復学Ⅱ	講義	4	68	34	34					
		必修	基礎柔道整復学Ⅲ	講義	4	68	34	34					
		必修	臨床柔道整復学Ⅰ	講義	4	68	34	34					
		必修	臨床柔道整復学Ⅱ	講義	4	68			34	34			
柔道整復実技 (臨床実習を含む。)		必修	臨床柔道整復学Ⅲ	講義	4	68			34	34			
		必修	臨床柔道整復学Ⅳ	講義	4	68					34	34	
		必修	柔道整復実技Ⅰ	実技	2	68	34	34					
		必修	柔道整復実技Ⅱ	実技	2	68			34	34			
		必修	柔道整復実技Ⅲ	実技	2	68					34	34	
		必修	柔道整復実技Ⅳ	実技	2	68					34	34	
		必修	柔道整復実技Ⅴ	実技	2	68					34	34	
		必修	柔道整復実技Ⅵ	実技	2	68					34	34	
	必修	柔道整復実技Ⅶ	実技	2	68					34	34		
昼間部特別	総合演習	必修	柔道整復実技Ⅷ	実技	1	34						34	
		必修	臨床実習	実習	1	68			34	34			
		必修	特別総合演習	演習	2	34					34		
		必修	総合演習1	演習	2	30		30					
		必修	総合演習2	演習	2	30		30					
		必修	総合演習3	演習	2	30		30					
		必修	総合演習4	演習	2	30		30					
		必修	総合演習5	演習	2	30				30			
		必修	総合演習6	演習	2	30				30			
		必修	総合演習7	演習	2	30				30			
		必修	総合演習8	演習	2	30				30			
		必修	総合演習9	演習	2	30						30	
必修	総合演習10	演習	2	30						30			
必修	総合演習11	演習	2	30						30			
必修	総合演習12	演習	2	30						30			
					122	2400	800		800		800		

柔道整復科 進級判定基準について

進級判定（留年）

1. 当該年度実施される授業の内、出席回数が既定の数に達していない科目が4科目以上あった場合は留年とする。
2. 当該年度実施される授業の内、定期試験の最終評価が不合格となった科目が4科目以上あった場合は留年とする。
(基礎科目がこれに含まれる場合は考慮する余地がある、成績の改善が顕著にみられる場合は進級判定会議にて決定する、担任は根拠となる資料を判定会議に提出する)

各科目の単位認定

1. 講義および演習については2/3以上、実技については4/5以上の出席をしていること。
2. 定期試験において、60点以上の評価を受け合格していること

追再試験

1. 定期試験において不合格だった者、または止むを得ない事情により定期試験を欠席した者については再試験または追試験を受けることが出来る。
2. 追再試験は1回までとする。

健康鍼灸科

分野	教育内容	必修 選択	授 業 科 目	区分	単 位 数	科 目 時 間	1年次		2年次		3年次		
							前	後	前	後	前	後	
基礎	科学的思考の基盤 人間と生活	必修	生物学	講義	4	68	34	34					
		必修	栄養学	講義	4	68	34	34					
		必修	パソコン	講義	2	34	34						
		必修	国語表現	講義	2	34		34					
		必修	体力学	講義	2	34			34				
専門基礎	人体の構造と機能	必修	解剖学Ⅰ	講義	4	68	34	34					
		必修	解剖学Ⅱ	講義	4	68			34	34			
		必修	生理学Ⅰ	講義	4	68	34	34					
		必修	生理学Ⅱ	講義	4	68			34	34			
	疾病の成り立ち、 予防及び回復の促進	必修	病理学概論	講義	2	34			34				
		必修	臨床医学総論	講義	4	68			34	34			
		必修	臨床医学各論Ⅰ	講義	4	68			34	34			
		必修	臨床医学各論Ⅱ	講義	2	34					34		
	保健医療福祉と はり及びきゅうの理念	必修	衛生学・公衆衛生学	講義	4	68	34	34					
		必修	医療概論・関係法規	講義	2	34					34		
	専門	基礎はり学 基礎きゅう学	必修	基礎はり・きゅう学Ⅰ(東洋医学概論Ⅰ)	講義	4	68	34	34				
			必修	基礎はり・きゅう学Ⅱ(経絡・経穴学)	講義	4	68	34	34				
		臨床はり学 臨床きゅう学	必修	臨床はり・きゅう学Ⅰ(東洋医学概論Ⅱ)	講義	2	34			34			
必修			臨床はり・きゅう学Ⅱ(東洋医学臨床論Ⅰ)	講義	2	34				34			
必修			臨床はり・きゅう学Ⅲ(鍼灸理論)	講義	2	34						34	
必修			臨床はり・きゅう学Ⅳ(東洋医学臨床論Ⅱ)	講義	4	68					34	34	
社会はり学・社会きゅう学		必修	社会はり・きゅう学	講義	2	34						34	
実習 (臨床実習を含む。)		必修	はり・きゅう実技Ⅰ	実技	2	68	34	34					
		必修	はり・きゅう実技Ⅱ	実技	2	68	34	34					
		必修	はり・きゅう実技Ⅲ	実技	2	68			34	34			
		必修	はり・きゅう実技Ⅳ	実技	2	68			34	34			
		必修	はり・きゅう実技Ⅴ	実技	2	68			34	34			
		必修	はり・きゅう実技Ⅵ	実技	2	68					34	34	
		必修	はり・きゅう実技Ⅶ	実技	2	68					34	34	
		必修	はり・きゅう実技Ⅷ	実技	2	68					34	34	
		必修	はり・きゅう臨床実習	実習	1	54					34	20	
総合領域		必修	総合領域Ⅰ	演習	4	68					34	34	
	必修	総合領域Ⅱ	演習	4	68					34	34		
	必修	総合領域Ⅲ	演習	4	68					34	34		
昼間部特別	総合演習	必修	特別総合演習	演習	2	34				34			
		必修	総合演習1	演習	2	30	30						
		必修	総合演習2	演習	2	30	30						
		必修	総合演習3	演習	2	30	30						
		必修	総合演習4	演習	2	30	30						
		必修	総合演習5	演習	2	30			30				
		必修	総合演習6	演習	2	30			30				
		必修	総合演習7	演習	2	30			30				
		必修	総合演習8	演習	2	30			30				
		必修	総合演習9	演習	2	30					30		
		必修	総合演習10	演習	2	30					30		
		必修	総合演習11	演習	2	44						44	
		必修	総合演習12	演習	2	30						30	
合計					125	2400	800	800	800				

<健康鍼灸科 進級判定基準について>

1. 「専門基礎」及び「専門」分野の授業科目を当該科目の実施する年次に分野ごとに2科目以上不合格科目があった場合は、進級できない。
2. 必修科目の不合格科目数が3科目以上の場合は、進級できない。
3. 実技、実習において不合格科目があった場合は、進級できない。

日本語科

日本語科 2年コース

授業科目	区分	単位数	科目 時間	1年次		2年次	
				前	後	前	後
日本語発音トレーニング	講義	4	80	40		40	
日本語文法	講義	4	80	40	40		
文法演習	講義	4	80			40	40
語彙表現	講義	4	80	40	40		
語彙表現演習	講義	2	40			40	
聴解	講義	2	40	40			
日本語講読	講義	2	40		40		
日本語精読	講義	4	80			40	40
文章表現	講義	4	80	40	40		
日本語能力試験対策	講義	6	120	40	40	40	
ビジネス基礎	講義	4	80	40		40	
ビジネス会話	講義	4	80		40		40
ビジネスマナー	講義	6	120	40	40	40	
ビジネス文書	講義	2	40			40	
経済事情	講義	2	40				40
Windows 演習	講義	4	80			40	40
資格検定対策	講義	2	40				40
コミュニケーション	講義	4	80	40	40		
スピーチトレーニング	講義	2	40			40	
プレゼンテーション	講義	4	80		40		40
応用会話	講義	4	80	40	40		
日本事情	講義	4	80	40	40		
日本文化	講義	4	80			40	40
表現活動	講義	4	80				80
	合計	86	1720	440	440	440	440

※日本語科の講義および演習は、20 単位時間をもって 1 単位とする。

日本語科 1.5年コース

授業科目	区分	単位数	科目 時間	1年次		2年次
				前	後	前
日本語発音トレーニング	講義	4	80	40		40
日本語文法	講義	4	80	40	40	
文法演習	講義	2	40			40
語彙表現	講義	4	80	40	40	
語彙表現演習	講義	2	40			40
聴解	講義	2	40	40		
日本語講読	講義	2	40		40	
日本語精読	講義	2	40			40
文章表現	講義	4	80	40	40	
日本語能力試験対策	講義	6	120	40	40	40
ビジネス基礎	講義	4	80	40		40
ビジネス会話	講義	2	40		40	
ビジネスマナー	講義	6	120	40	40	40
ビジネス文書	講義	2	40			40
経済事情	講義	0	0			
Windows 演習	講義	2	40			40
コミュニケーション	講義	4	80	40	40	
スピーチトレーニング	講義	2	40			40
プレゼンテーション	講義	2	40		40	
応用会話	講義	4	80	40	40	
日本事情	講義	4	80	40	40	
日本文化	講義	2	40			40
	合計	66	1320	440	440	440

※日本語科の講義および演習は、20 単位時間をもって1 単位とする。